

なんケア通信

第10回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成29年8月18日（金）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：地域包括支援センター 5名、介護事業所関係者 20名、
医療関係者 8名、その他 1名

メインテーマ：在宅看取りを支える

～幸せな人生の最期を迎えるための支援～

ミニ講座

終末期における医療のあり方

『治療しない肺炎について』

御野場病院 診療部長 吉川 晴夫 様

事例紹介

在宅看取りの事例紹介

『肺がん末期でホスピス病院入院待機中に、在宅での自然な看取りを
サポートした事例』

秋田在宅ケアセンター 訪問看護ステーション ころろ
管理者 石川 京子 様

平成29年8月18日（金）に「第10回なんケアの会」を開催いたしました。
介護関係、医療関係の他多数の職種の方にご参加頂き、誠にありがとうございました。

毎回開催される参加者のアンケートより、在宅看取りをテーマとした要望
が多く聞かれましたので、今回からのメインテーマを「在宅看取りを支える
～幸せな人生の最期を迎えるための支援～」と致しました。

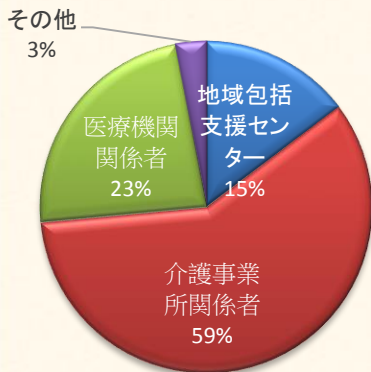
吉川先生からは、2017年4月に改訂された成人肺炎診療ガイドラインから、
最新の肺炎治療について詳しく説明していただきました。また、嚥下と誤嚥
についての動画による解説はとてもわかりやすく、しっかり理解することが
できたと思います。これからは個人の意思やQOLを意識した治療・ケアが
求められ、人生の最期にはその人の尊厳が全うできるよう、あえて医療行為
を行わないという選択肢もある、ということ学びました。

また、訪問看護ステーションころろの石川様からは、ホスピスの待機中の
訪問看護の関わり・ケアについて事例紹介していただきました。症状の変化
に応じて本人や家族の意向を確認し、頻回に関連職種とカンファレンスを行
いながら、きめ細かなケアが提供されていました。親身になって寄り添い支
えたことで、最終的にご家族が在宅での看取りを決意されたとのことでした。
ご本人は、住み慣れた自宅のベッドでご家族や愛犬に見守られ、安らかな最
期を迎えることができたと思います。

看取りケアを行っていくには、ご家族の不安を受け止め支援すること、他職
種と十分な連携をとりサポートしていくことが大切であると改めて感じた事
例紹介でした。

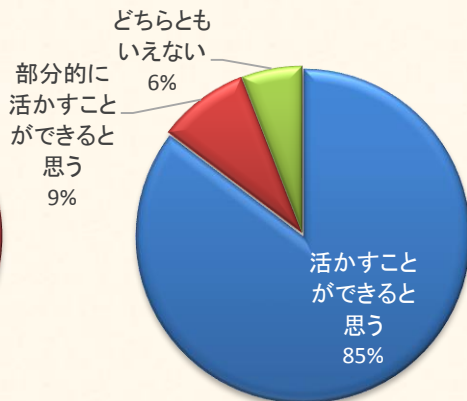
アンケートの集計結果

参加者



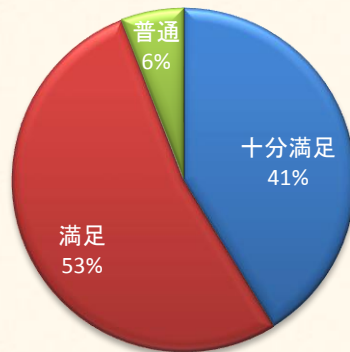
- 地域包括支援センター
- 介護事業所関係者
- 医療機関関係者
- その他

今後、地域での活動に活かすことができそうですか？



- 活かすことができると思う
- 部分的に活かすことができると思う
- どちらともいえない

なんケアの会に参加していかがでしたか？



- 十分満足
- 満足
- 普通

会場の様子



皆様からの ご意見・ご感想

・終末期における方への対応が参考になりました。
 ・担当者間で連携がきちんとれ、最後まで家族とともに最後まで自宅で過ごせたことは、御本人にとっても良かったのかなと思いました。ケアカンファレンスを通して同じ思いを持つことができたのが良い支援につながったのかなと思いました。

介護支援事業所関係者

・外来として関わった事例の訪看側の見方（考え方や在宅の裏側の話）を知ることができて、貴重な経験でした。

医療機関関係者

・貴重なお話をうかがい、今後のケアのはげみになりました。ありがとうございました。

地域包括支援センター

次回開催の お知らせ

開催日時：平成29年10月10日（火）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

